

平成 30 年度 第 30 回住生活月間功労賞表彰（国土交通大臣表彰）

十津川村「十津川村復興公営住宅」受賞

日本一大きな村として知られ、村の 96%が森林である十津川村は、過疎高齢化が顕著な山間地域である。平成 23 年、紀伊半島大水害により甚大な被害を受け、復興公営住宅をきっかけとして集落づくりに取り組まれてきた。

十津川村復興公営住宅の全体計画は、十津川村村づくりアドバイザーの葦原敬氏、アルセッド建築研究所（設計監理担当）、環境設計研究所、奈良県、当社が担当した。当社は、奈良県による村に対する復興支援業務として、復興集落づくり計画作成業務を行った。

（第三種郵便物認可）

建設新報

「十津川村復興公営住宅」が受賞

“住生活月間” 国土交通大臣表彰・団体部門



▲谷瀬団地（3号棟）

▼高森C団地

〔写真提供：十津川村〕



の向上を図るとともに、豊かな住生活を実現するため、総合的な啓発活動を展開、その一環として、各分野で活躍した個人・団体に功労者表彰を行っている。第30回「住生活月間功労者表彰」には、国土交通大臣表彰31件（個人22名、団体9団体）、住宅局長表彰11件（個人5名、団体6団体）が選ばれ、県内から十津川村が平成25年から26年度に実施し

十津川村復興公営住宅建設事業は、谷瀬団地に建設した「谷瀬団地」、木造平屋建（2DK、58・21平方メートル）3戸と木造平屋吉野建

造2階建（3DK、83・43平方メートル）1戸の計9戸を建設。平成23年紀伊半島大水害からの復興のための事業として、復興モ

う、地産地消の地域循環型の住まいづくりを実現。また、被災者の撤去後はUターン者の公営住宅として活用し、定住促進、過疎

の休耕田畑に分散して埋め込む形で小規模造成の宅地に戸建て住宅を配置するなどの工夫と配慮が認められた。全体計画は葦原敬氏（都市プランナー・十津川村村づくりアドバイザー）、アルセッド建築研究所、環境設計研究所、市浦ハウジング&プランニング、奈良県土木マネジメント部まちづくり推進局住まいまちづくり課が、設計監理はアルセッド建築研究所が担当、施工は谷瀬団地が泉谷工務店と柳瀬工務店、猿飼団地は亀本工務店、三共工務店、田垣建築社建築、西建築の地元の大工がそれぞれ担当した。

地産地消の循環型住まいづくり実現

た「十津川村復興公営住宅」が国土交通大臣表彰団体部門を受賞、先月13日に宇都宮クラウドホテルにおいて表彰された。

（同）1戸の計4戸と、猿飼団地に「猿飼（高森）団地」、木造平屋建（2DK、58・21平方メートル）7戸、木造平屋吉野建（同）1戸、木

デル住宅及び復興公営住宅の整備を行ったも、十津川の木材を使用し、十津川の美しい住宅を、十津川の大工が施工する」とい

地域対策を図った。さらに、集落のコミュニティや集落景観への配慮・工事費削減・工期短縮のため、大規模造成は避け、等高線に沿った既存の集落の地形や樹木、生活動線である「里道」の継承を優先して、集落